

平成 31 年 3 月に北海道大学医学部保健学科検査技術科学専攻を卒業した皆様へ

保健科学研究院 病態解析学分野 政氏研究室（検査血液学研究室）では、現在、下記の臨床研究が進行中です。この研究は、皆さんが3年次に履修した「臨床血液学実習Ⅰ」で採血し、血球数の計数等に使用した末梢血検体の正解作成のために、研究室に設置した自動血球計数装置で測定したデータを使用します。同実習のデータを集計して、**血液検査項目**の平均、分布範囲等の年次推移を検討し、検査技術科学専攻学生における血液検査項目の年次変化の有無について検証したいと考えています。今回の調査研究の対象データからの削除を希望される平成31年卒業生の方がおられましたら、下記の研究責任者の連絡先に、メール、FAX 等にてご連絡をお願い致します。

研究責任者： 政氏伸夫（北海道大学大学院 保健科学研究院 病態解析学分野 准教授）
連絡先：

電話：011-706-3384 Fax：011-706-4916

E-mail：nmasauzi@hs.hokudai.ac.jp

住所：〒060-0812 札幌市北区北12条西5丁目 北海道大学大学院 保健科学研究院

臨床研究題目：

「検査技術科学専攻学生の血液検査項目の年次変化に関する検討」

概要：

検査技術科学専攻で3年次第1学期に履修する「臨床血液学実習Ⅰ」では、目視計数や用手法による計量を行った血液検体を自動血球計数装置で実測し、結果の検証に使用しています。この形式の実習は2013年度以降7年間継続して行われています。近年の実習では、いくつかの項目において基準値範囲内ながら、その上下限に近い値を示す学生が散見されています。そこで、政氏研究室の自動血球計数装置のメモリー上に残存する2017年度以降の「臨床血液学実習Ⅰ」のデータと、記録として残存していた2016年度の実習のデータの平均、分布範囲等を集計し、検査技術科学専攻学生における血液検査項目の年次変化の有無について検証したいと考えています。**解析、集計は、2016～2019年度**に保健学科検査技術科学専攻、3年次の「臨床血液学実習Ⅰ」を履修した学生の上記の検査データおよび2020年度に「臨床血液学実習Ⅰ」を履修する予定の検査15期の学生のCBC、5-Def、Hb濃度、Hctの自動血球計数装置による実測検査データを対象として行います。